

組立て施工マニュアル

- 新日軽の製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当マニュアルをお読みください。
- 埋設物（ガス管・水道管）の有無を確認の上、柱位置を設定してください。

■工事店様へのお願い

- 新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を、十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。
 - (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
 - (2) モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
 - (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、

塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。

- (4) 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
 - (5) アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
 - (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- みだりに改造等の仕様変更は避けてください。
 - 施工終了後、説明書は施主様へお渡しください。

■施工上の注意

- 電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。また、施工完了後に説明書を施主様にお渡しください。
- 屋根の雪などが落下の恐れのある場所、または強風が屋根を吹き上げる恐れのある場所への設置はしないでください。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。

■安全にお使いいただくために必ずお守りください。

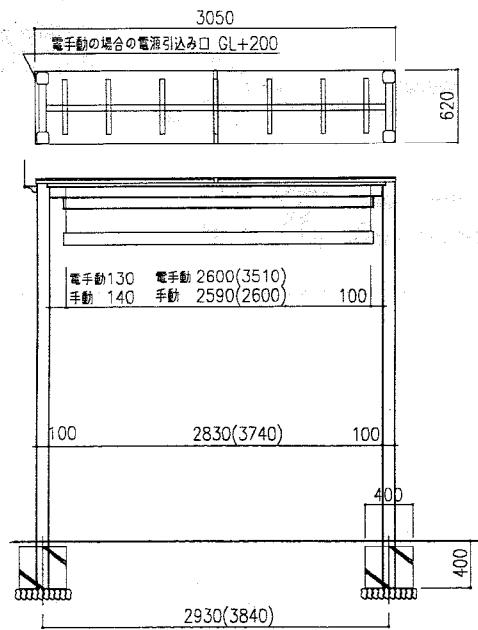
お願いしたいこと…この取扱い説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
 注意	この表示を無視して、取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。

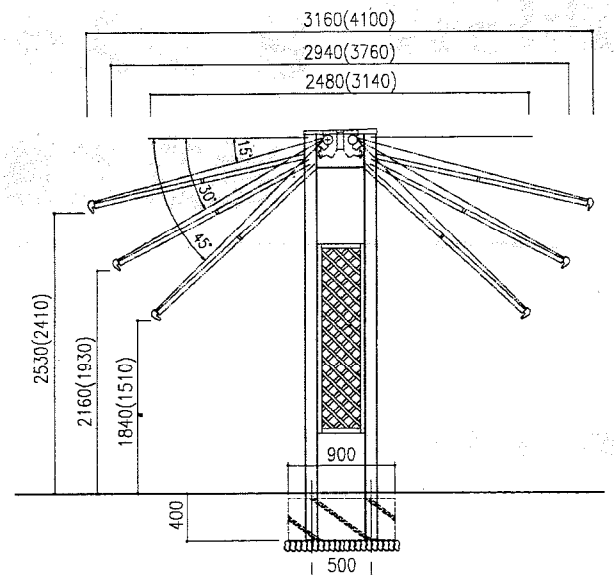
注意事項……………

-  **注意** ● 屋根板上の積雪が20cmを越える前に雪降ろしをしてください。
-  **注意** ● 常時風当たりの非常に強い場所（崖縁等）、又は軟弱地盤での設置は避けてください。
-  **注意** ● 当製品をみだりに改造、変更をしないでください。
-  **注意** ● 物干しアーム取付け時は柱1本当たり35kg以上つり下げないでください。

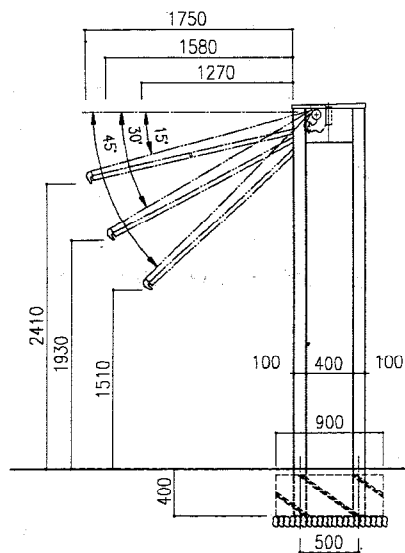
■ 姿 図



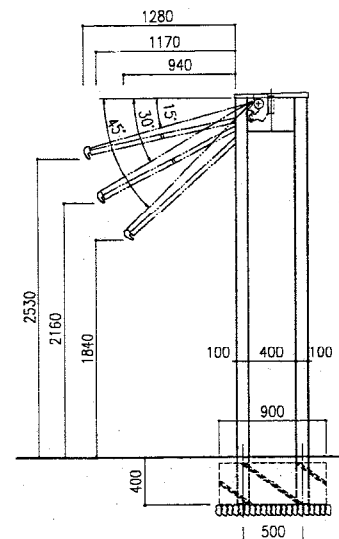
本図は1.5間を示し()寸法は2間を示す



本図は出巾1.5mを示し()寸法は出巾2.0mを示す

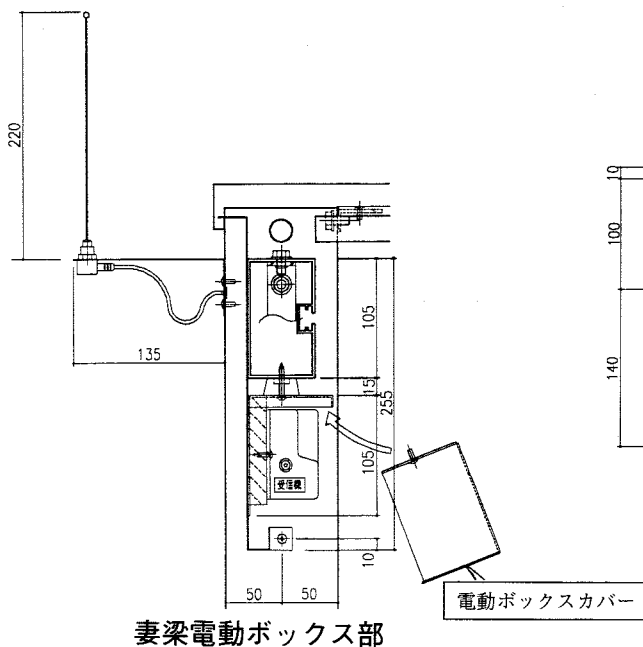


出巾2m

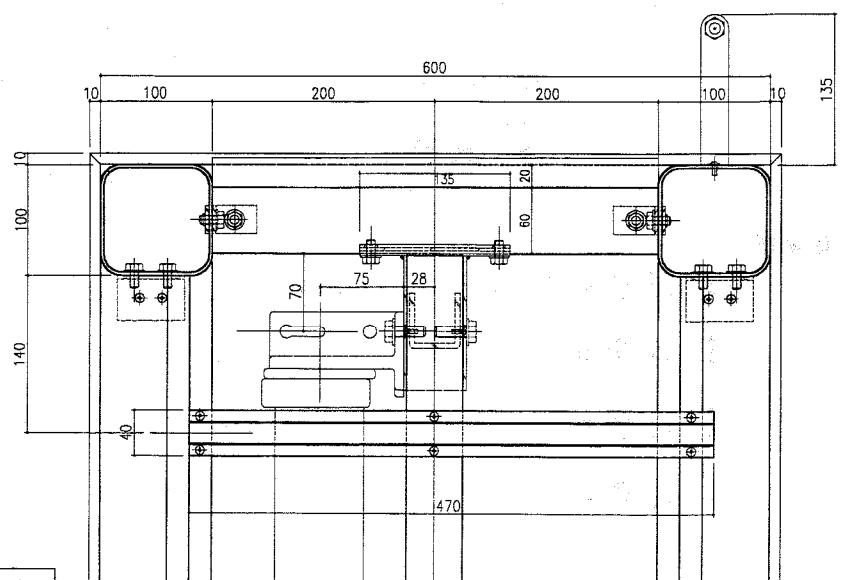


出巾1.5m

■ 断面図

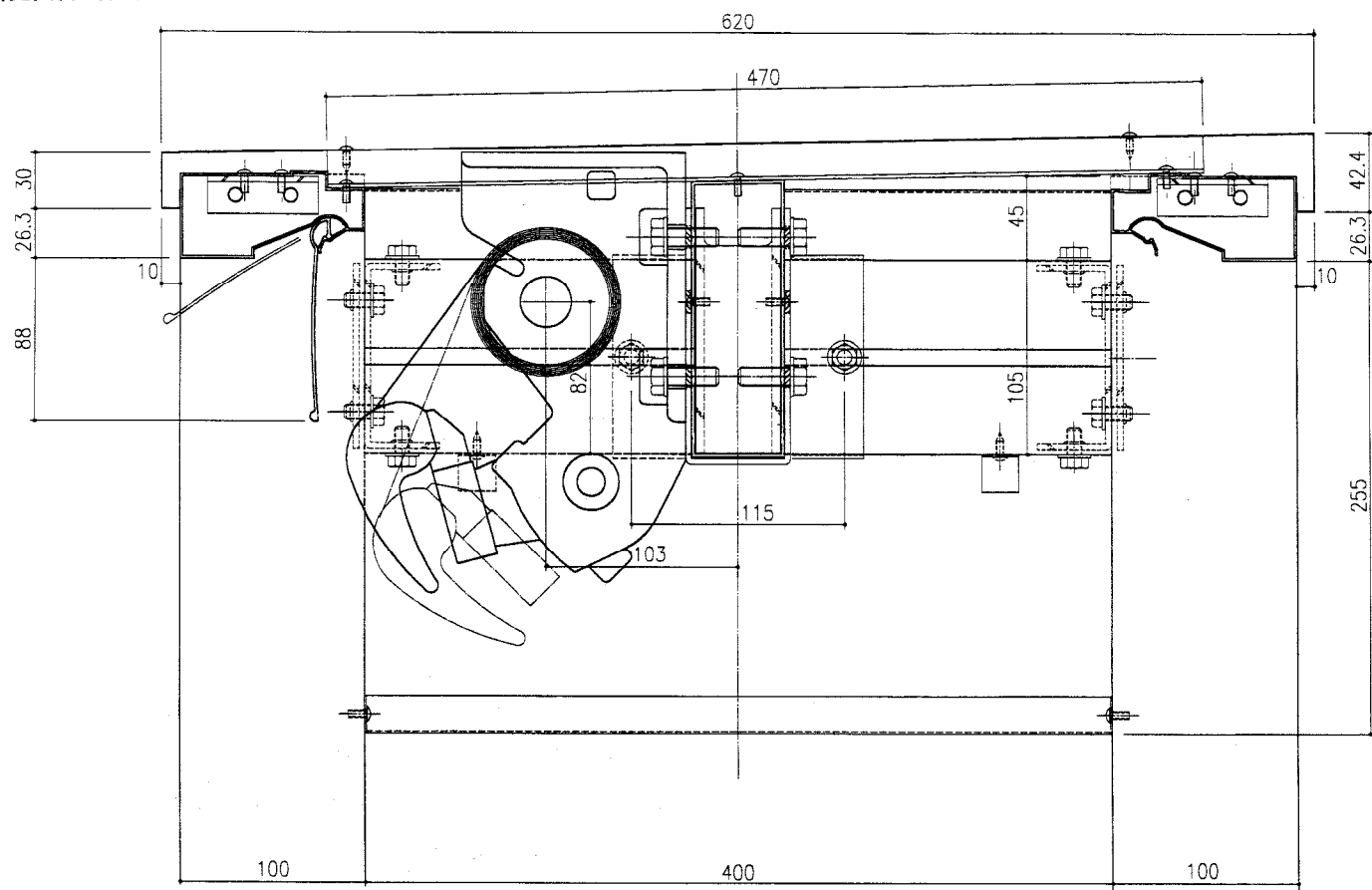


妻梁電動ボックス部



横断面図

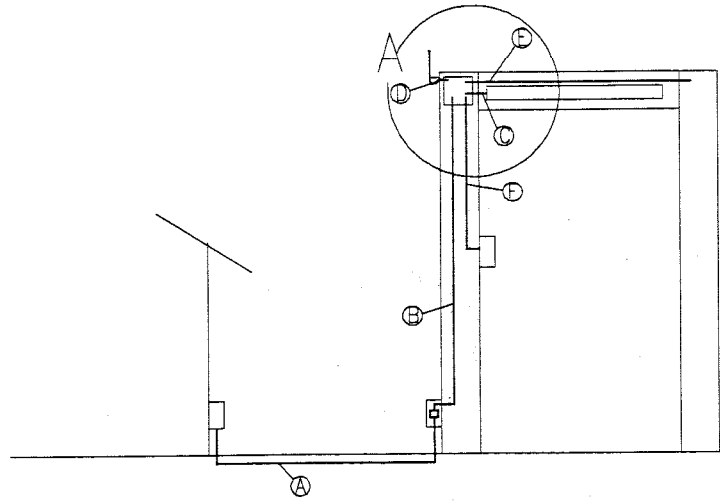
縦断面図



■ 拾い出し表

名 称		製品記号	手 動				電 手 動				手 動				電 手 動				梱 包 内 容
			間口1.5間		間口2.0間		間口1.5間		間口2.0間		間口1.5間		間口2.0間		間口1.5間		間口2.0間		
			出巾 1.5m	出巾 2.0m	出巾 1.5m	出巾 2.0m	出巾 1.5m	出巾 2.0m	出巾 1.5m	出巾 2.0m	出巾 1.5m	出巾 2.0m	出巾 1.5m	出巾 2.0m	出巾 1.5m	出巾 2.0m	出巾 1.5m	出巾 2.0m	
柱		(H) (S) (T)NBCP2(MG)	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	柱 2 本
電動用柱		(H) (S) (T)NBCEP2(MG)					1	1	1	1					1	1	1	1	電動用柱 2 本
間口材セット 1.5間		(H) (S) (T)NBCD15(MG)	1	1			1	1			1	1			1	1			前枠2本、桁1本、前面カバー1本、 妻梁2本、母屋7本、巾決アンカー1セット
間口材セット 2.0間		(H) (S) (T)NBCD20(MG)			1	1			1	1			1	1			1	1	前枠2本、桁1本、前面カバー1本、 妻梁2本、母屋9本、巾決アンカー1セット
屋根材 1.5間		(H) (S) (T)NBCY15(MG)	1	1			1	1			1	1			1	1			屋根板2枚、目地カバー1本、側面板2枚
屋根材 2.0間		(H) (S) (T)NBCY20(MG)			1	1			1	1			1	1			1	1	//
部品箱		(H) (S) (T)NBCBOX(MG)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	組立部品一式
前面カバー 1.5間用		(H) (S) (T)NBCF15(MG)									1	1			1	1			前面カバー1枚、配線コード1本
前面カバー 2.0間用		(H) (S) (T)NBCF20(MG)											1	1			1	1	//
電動ボックス		(H) (S) (T)NBCGP(MG)					1	1	1	1					2	2	2	2	電動部品一式
オーニング	手 動	1.5間×1.5m	TNBCT151	(T) (U)	1						2								手動式オーニング
		1.5間×2.0m	TNBCT152	(T) (U)		1					2								
		2.0間×1.5m	TNBCT201	(T) (U)			1					2							
		2.0間×2.0m	TNBCT202	(T) (U)			1						2						
	電手動	1.5間×1.5m	TNBCE151	(T) (U)				1							2				電手動式オーニング
		1.5間×2.0m	TNBCE152	(T) (U)					1						2				
		2.0間×1.5m	TNBCE201	(T) (U)						1							2		
		2.0間×2.0m	TNBCE202	(T) (U)							1							2	
	無線ユニット		TNBCERC					1	1	1	1				2	2	2	2	無線ユニット一式
	スイッチ		TNBCES					(1)	(1)	(1)	(1)				(2)	(2)	(2)	(2)	スイッチ、延長コード
合計梱包数				6	6	6	6	8(9)	8(9)	8(9)	8(9)	8	8	8	8	12(14)	12(14)	12(14)	12(14)

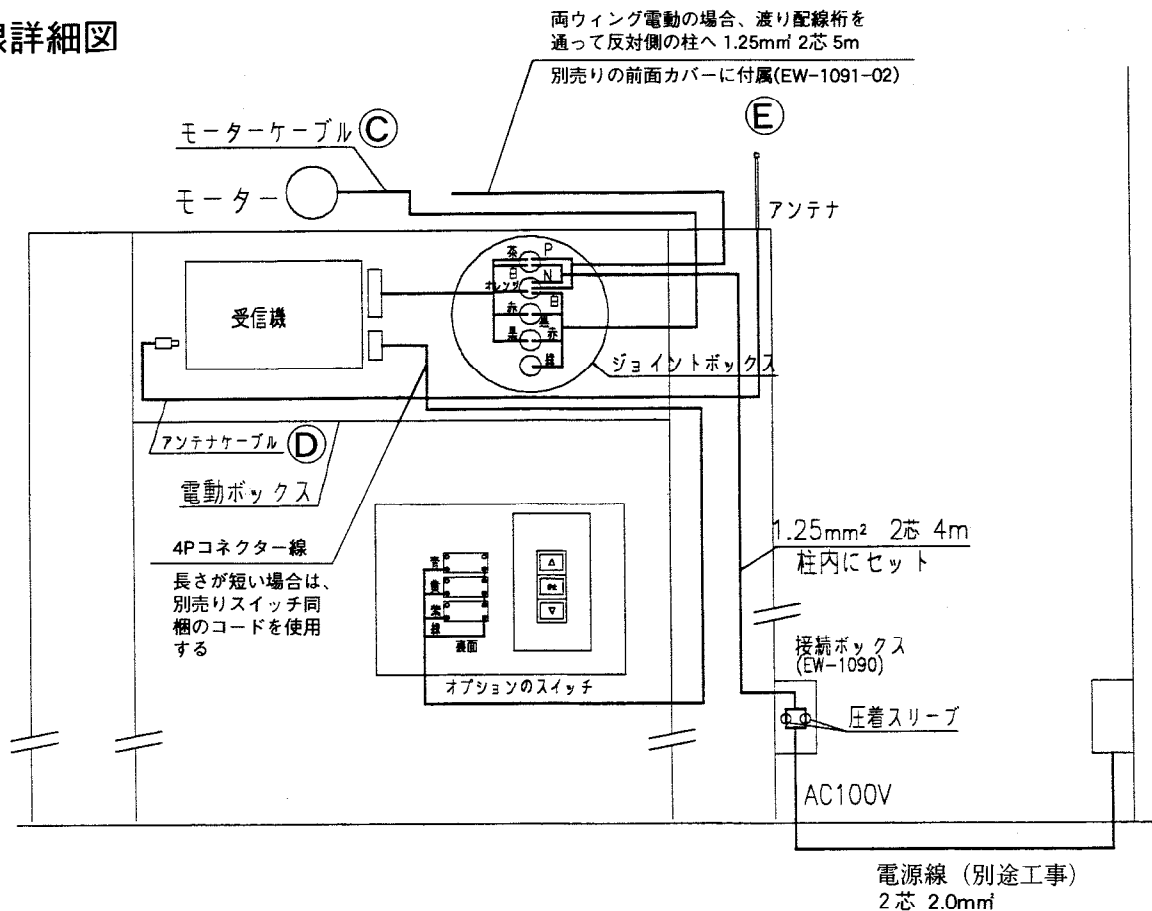
配線図



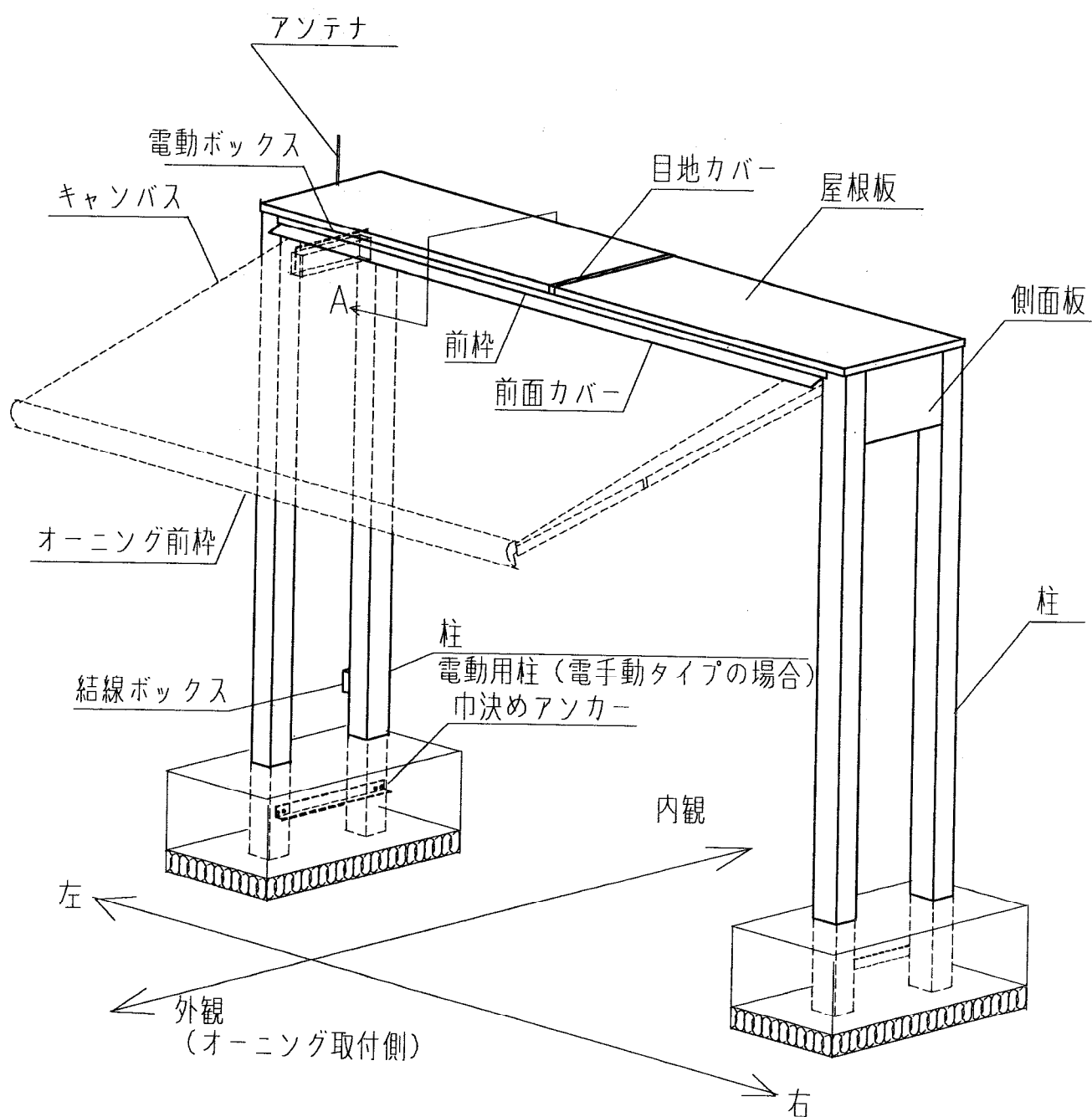
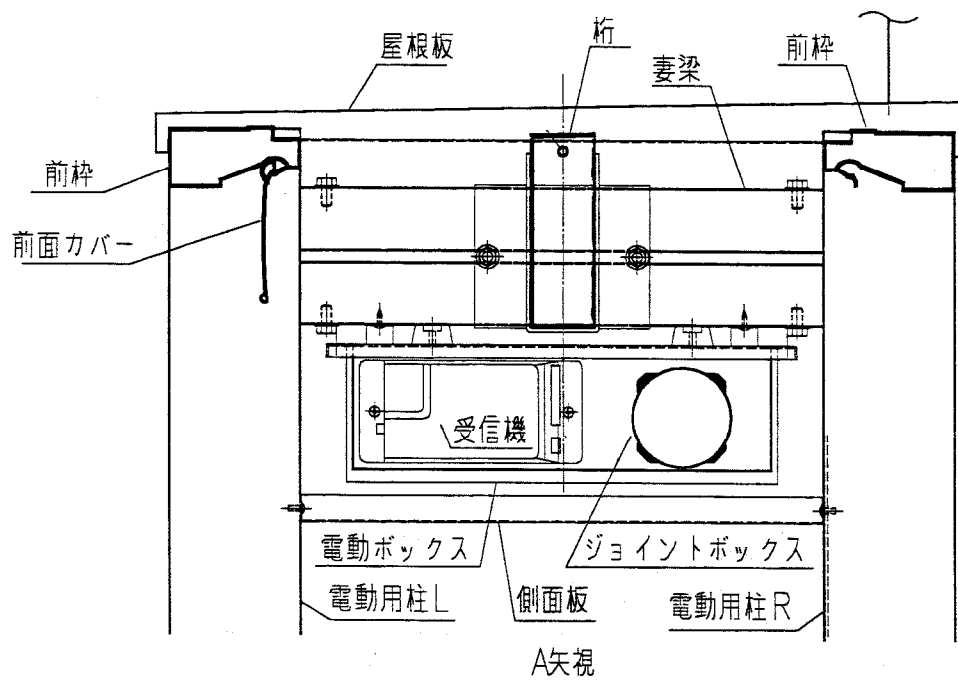
			備考	製品記号
A	電源線 (別途工事)	2芯 2.0mm ²	50m まで	
B	柱内配線	2芯 1.25mm ²	柱内に取付済	(H S T) NBCP2 (MG)
C	モーターケーブル	4芯 0.75mm ²	モーターに取付済	
D	アンテナケーブル	同軸ケーブル	無線ユニットに同梱	TNBCERC
E	渡り配線	4芯 1.25mm ²	前面カバーに付属 (両ウイング時のみ使用)	(H S T) NBCF (15/20) (MG)
F	スイッチケーブル	4芯 コネクター付	無線ユニットに同梱	TNBCERC
	延長ケーブル	4芯 0.75mm ²	スイッチに同梱	TNBCES

注意 Aの電源線及びCD管(別途工事)は本体を組立てる前に、あらかじめ施工しておいて下さい。CD管の位置はP9の③を参照下さい

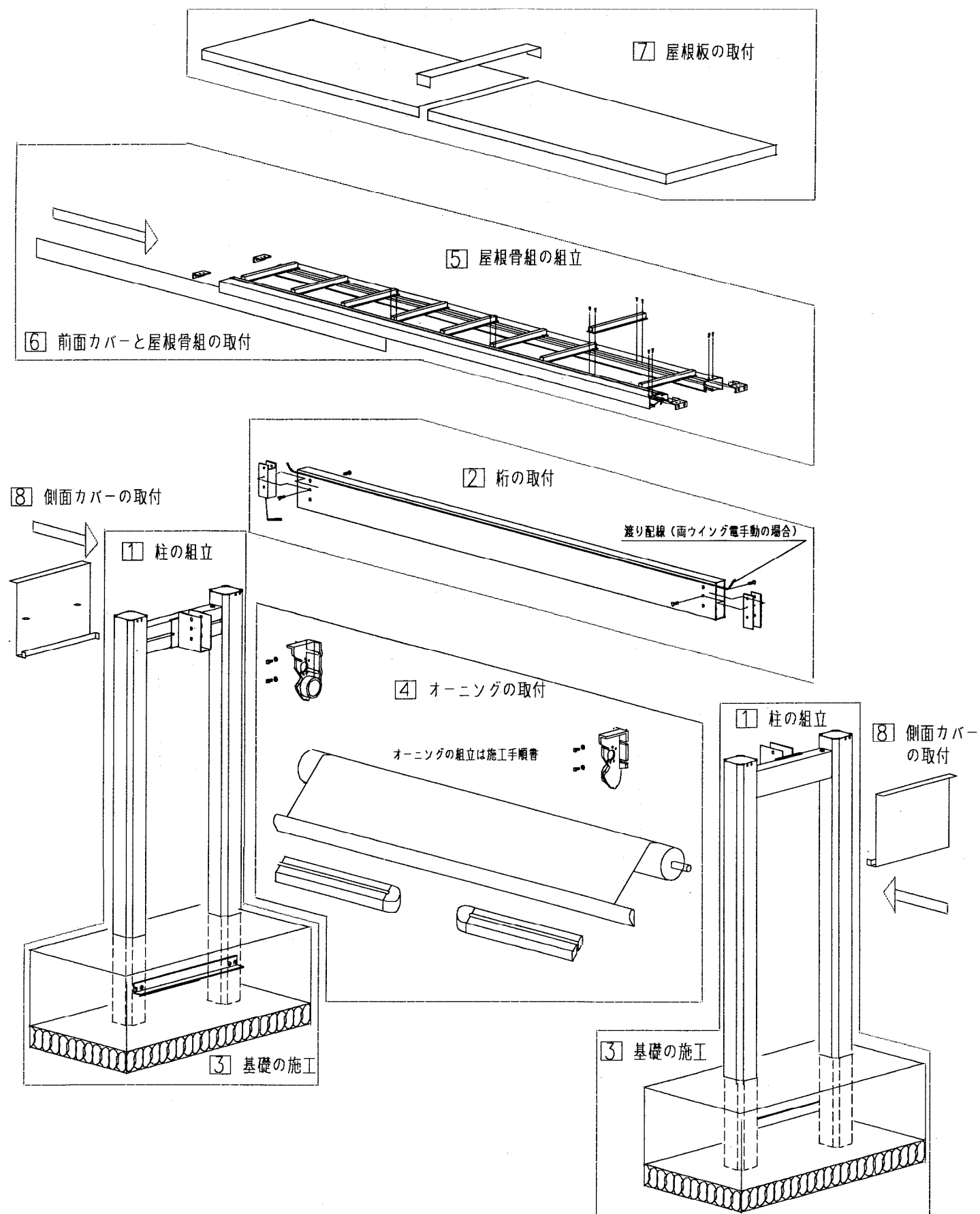
A部結線詳細図



各部の名称

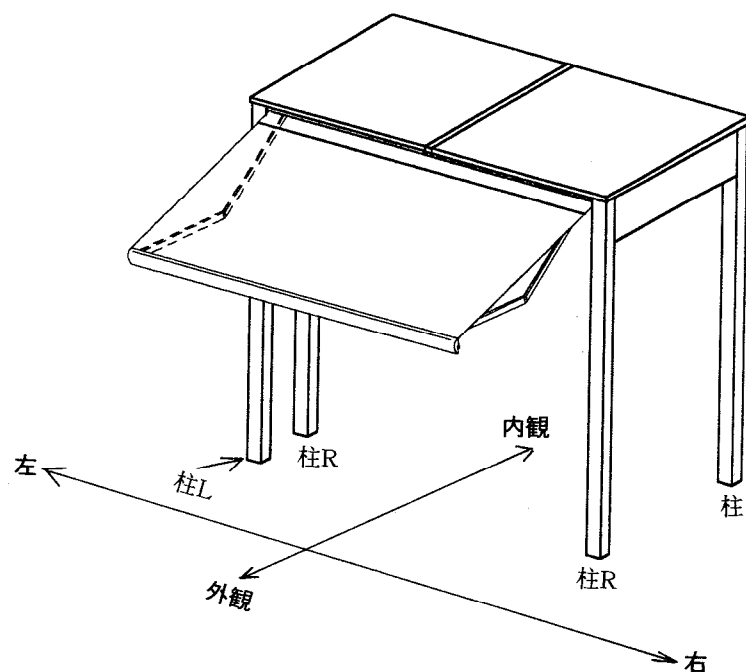


組立内容図



①柱の組立て

※電手動タイプの場合（両ウィングタイプ）

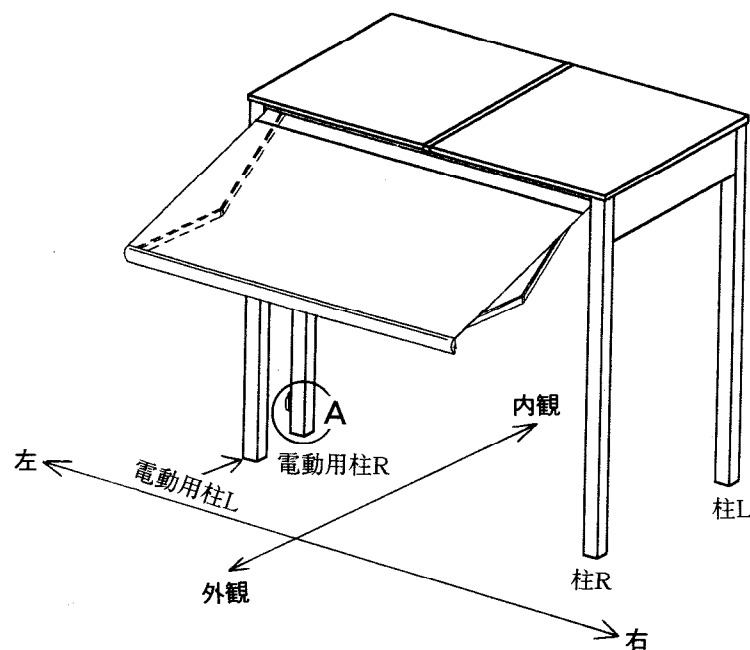
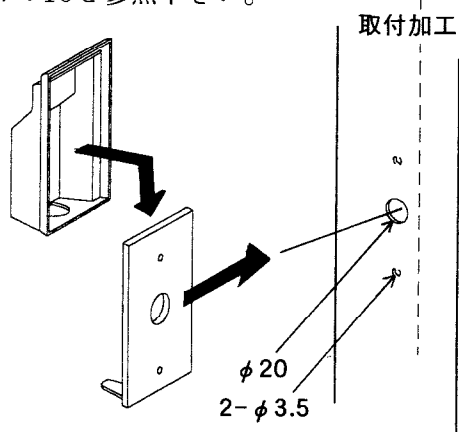


※電手動タイプの場合（片ウィングタイプ）

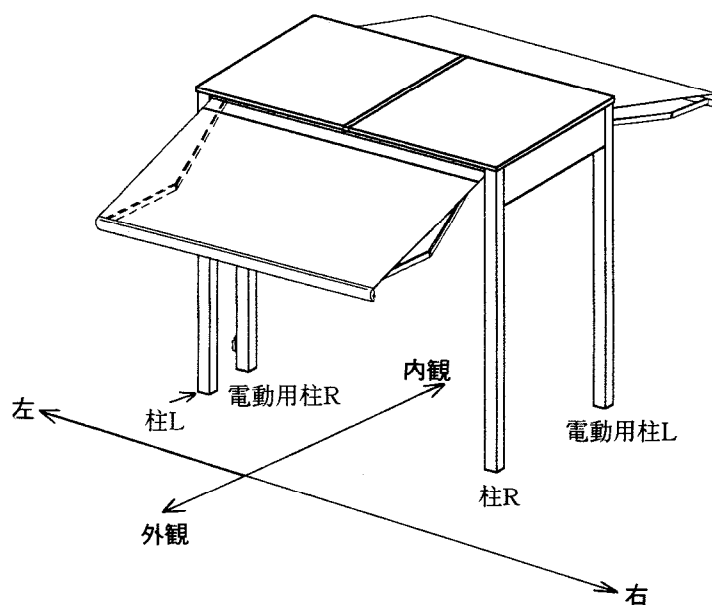
A部加工詳細

結線ボックス取付加工のある柱を電動用柱Rとする

結線ボックスの取付は
P.17の10を参照下さい。



両ウィングタイプの場合は、
右図のように柱をセットして下さい。



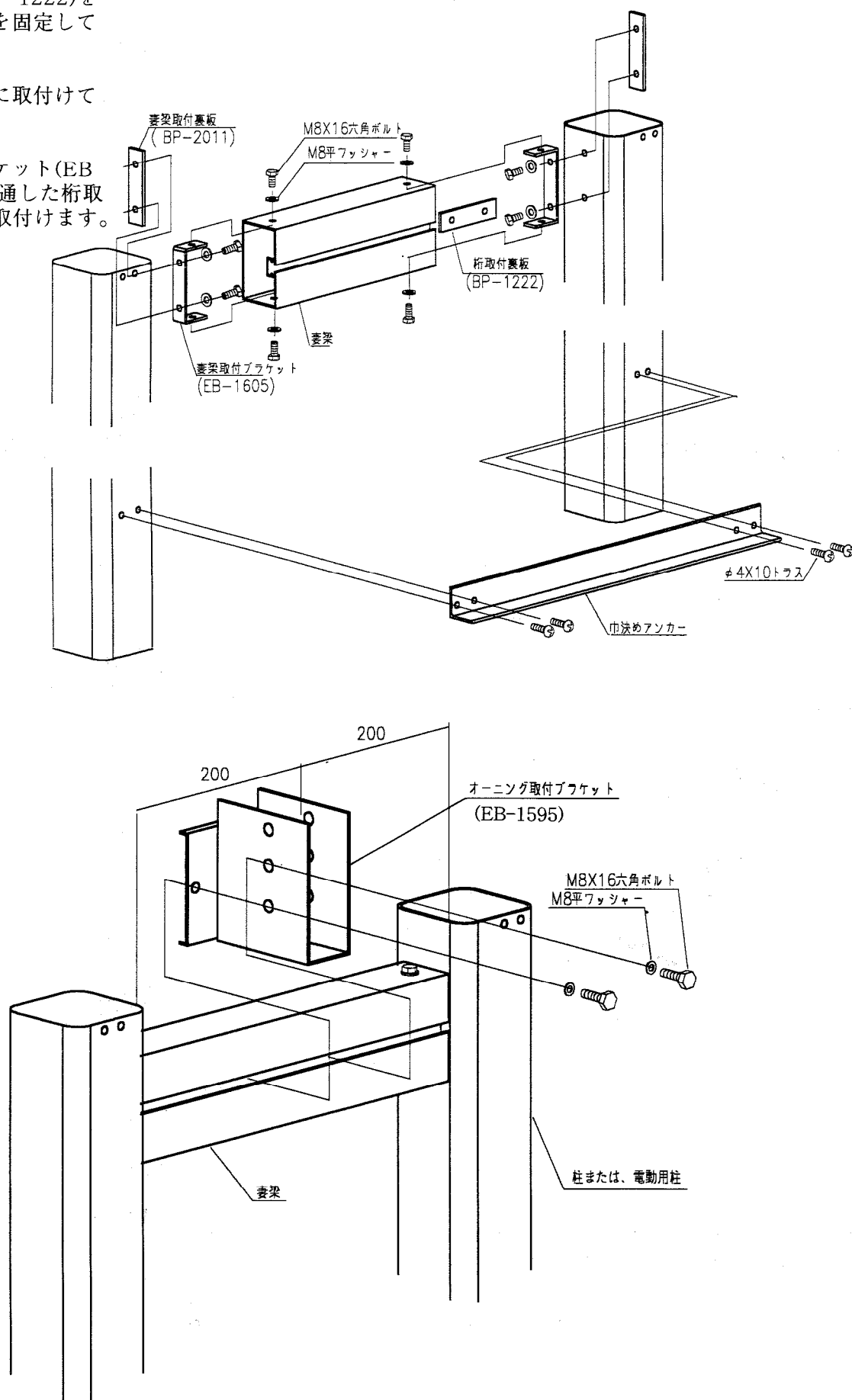
①妻梁のスライド溝に桁取付裏板(BP-1222)を通してください。

②柱に妻梁取付裏板(BP-2011)を入れ、妻梁取付ブラケット(EB-1605)を取付けてください。

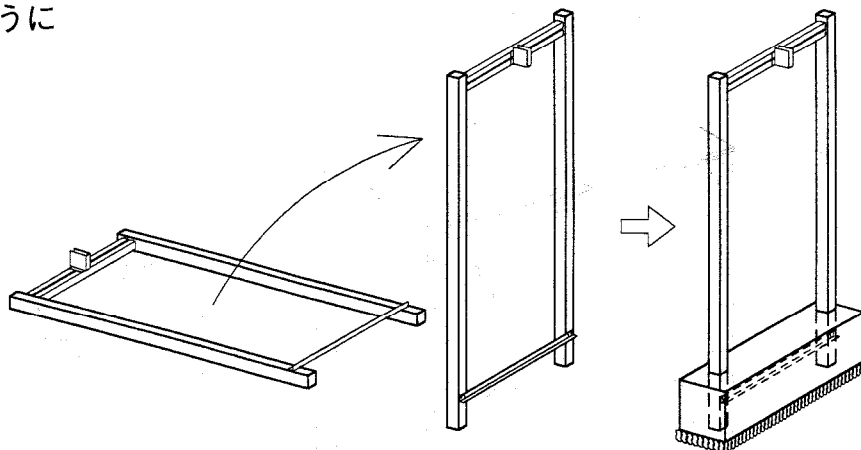
③妻梁に桁取付裏板(BP-1222)を通してから柱と妻梁を固定してください。

④巾締めアンカーを柱に取付けてください。

⑤オーニング取付ブラケット(EB-1595)を予め妻梁に通した桁取付裏板(BP-1222)に取付けます。



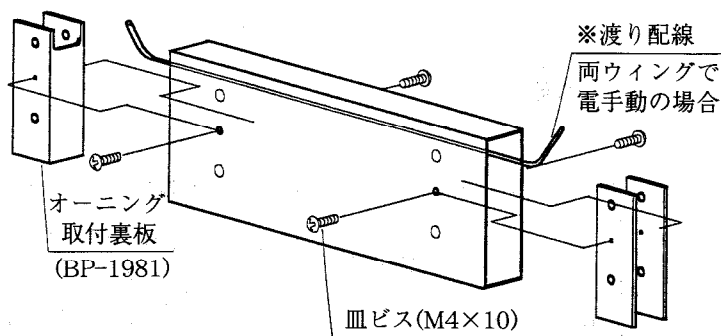
②組立てた柱を起し、倒れないように仮固定をします。



桁にオーニング取付裏板(BP-1981)を皿ビス(M4×10)で取付けます。

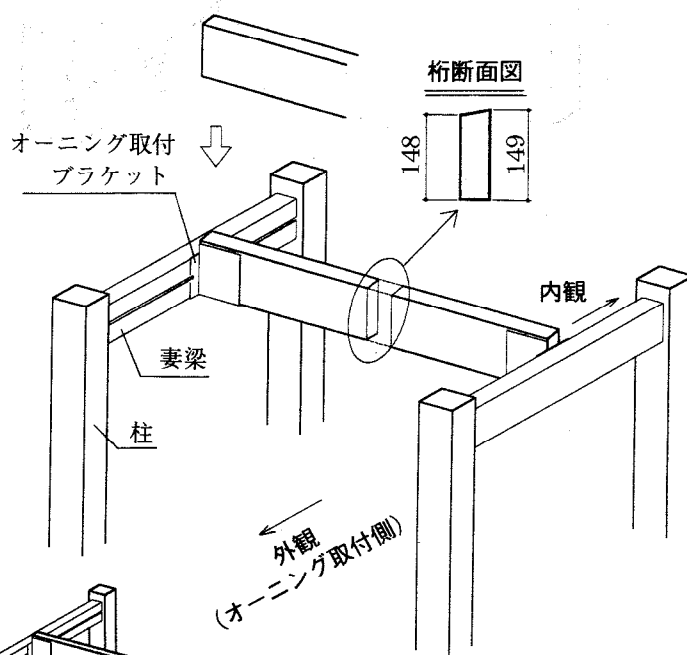
※電手動を用いた両ウィングタイプの場合は、桁取付け時に渡り配線を桁の中に通して下さい。

渡り配線は前面カバー内に用意されています。



桁をオーニング取付ブラケットにのせます。

※桁には水勾配がついています。
桁断面図を参照し、向きに注意して取付けて下さい。

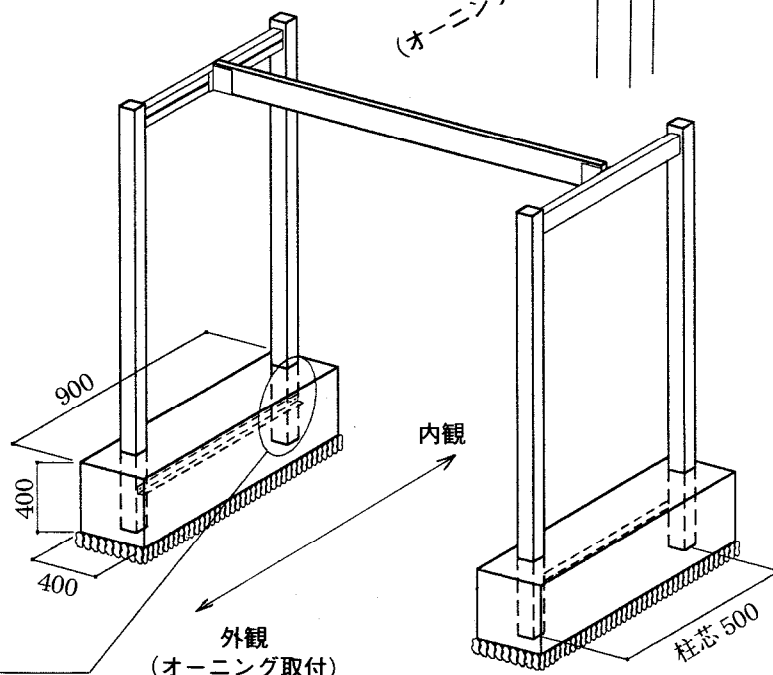
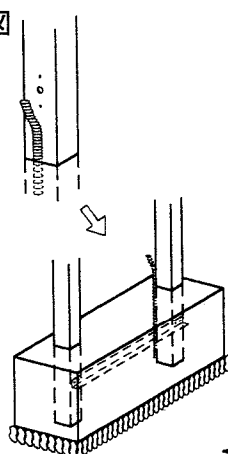


③基礎の施工を行います。

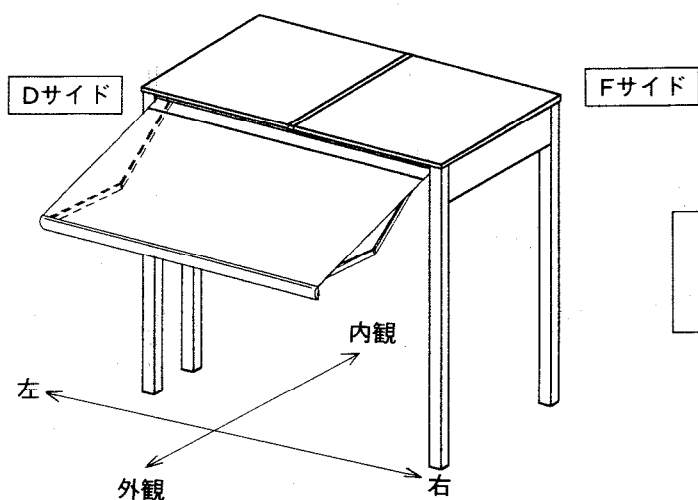
基礎寸法及び埋込み寸法は、図の寸法以下にならないように施工して下さい。

電手動タイプの場合は柱施工時にCD管を埋め込み、結線ボックス取付側に沿わせて30cm以上出すようにして下さい。

矢視図



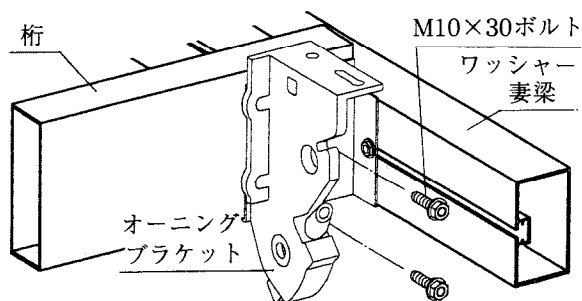
4-1 オーニングの取付け



注意

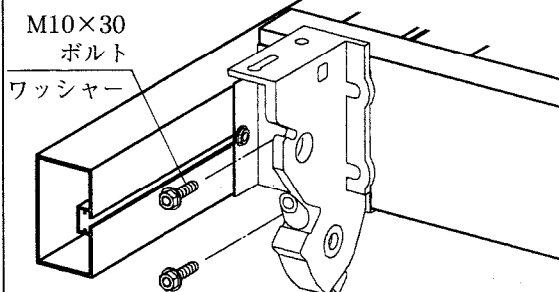
オーニングブラケットには左右がありますので
①～②図を参照の上、取付を行ってください。

① Fサイドオーニングブラケットの取付



M10×30 ボルトとワッシャーでオーニングブラケット
を取付けて下さい。

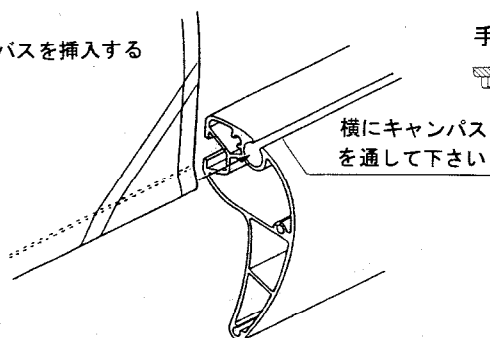
② Dサイドオーニングブラケットの取付



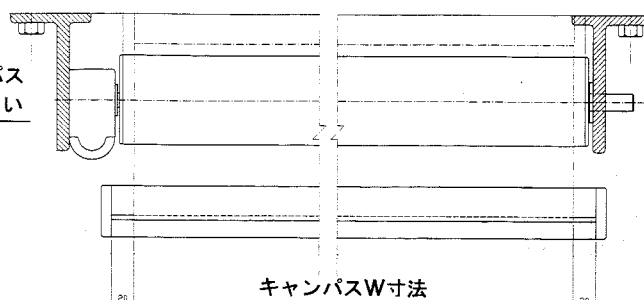
Dサイドのオーニングブラケットは
位置調整ができる程度に
仮固定して下さい。

③ 前枠とキャンパスの取付

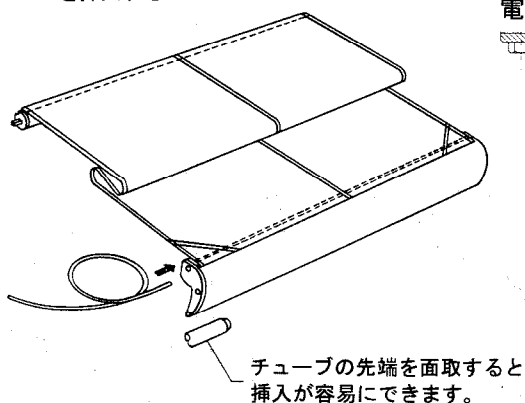
キャンパスを挿入する



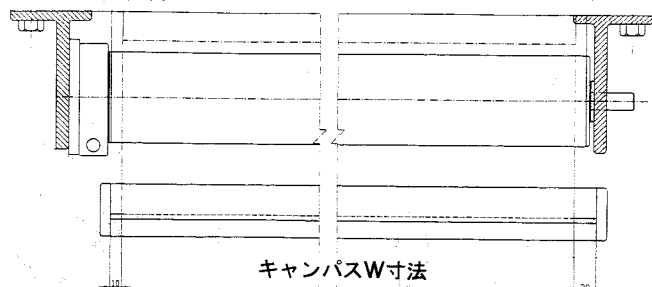
手動の場合



チューブを挿入する



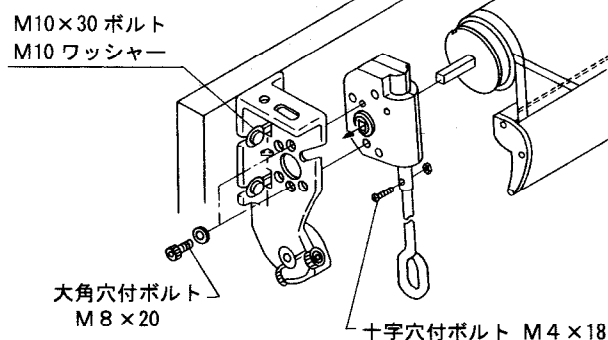
電手動の場合



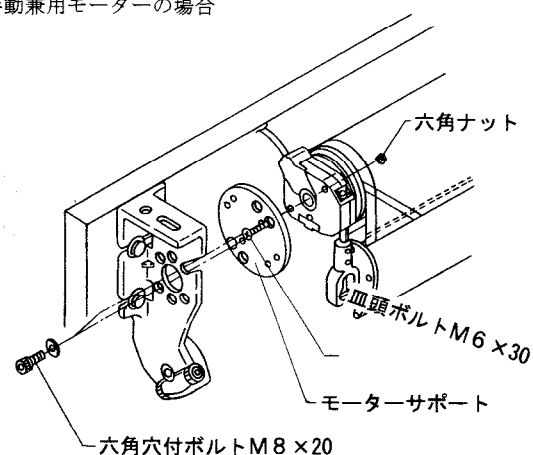
④巻取ロールの取付

- ・巻取ロールの左側に、手動の場合はギアボックス、電手動の場合にはモーターサポートを取付けて下さい。

手動ギアボックスの場合

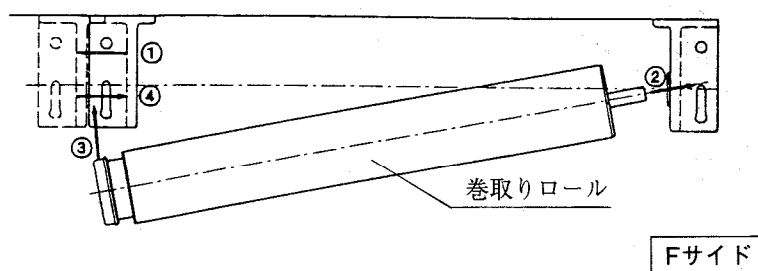
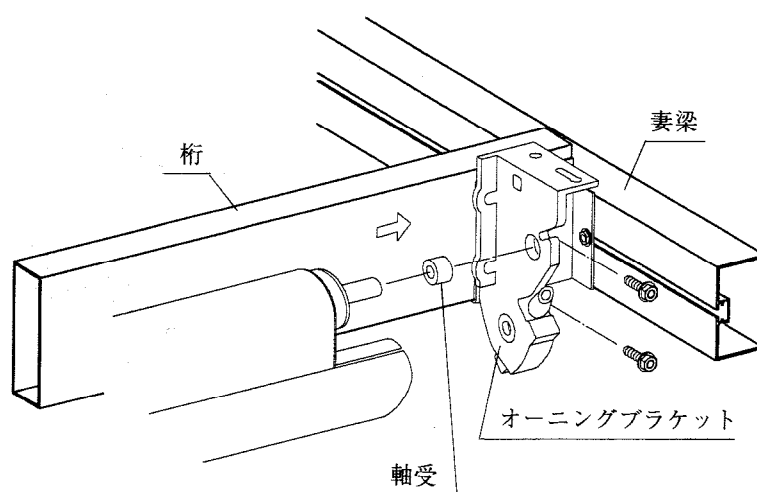


電手動兼用モーターの場合

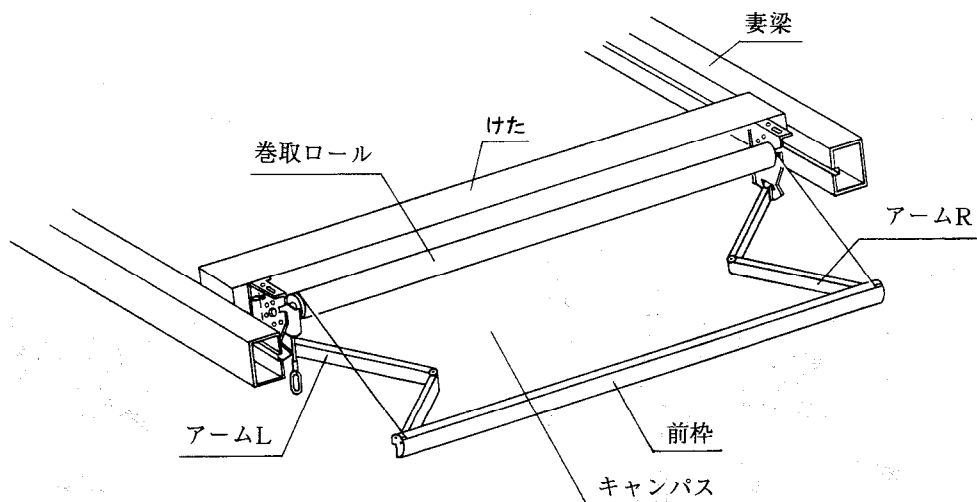


注意：逆に組み込むとギアがロックせずアームのテンションでキャンパスが張り出されてしまい、非常に危険です。
※巻取パイプと手動ギアのスキ間を1～2mmとって下さい。

- ・Fサイドのオーニングブラケットに巻取ロールの軸部分を差込みます。
- ・仮固定されているDサイドのオーニングブラケットに巻取ロールの左側を取付ます。
- ・位置決めが終わったら仮固定されているDサイドのオーニングブラケットのボルトを固定して下さい。

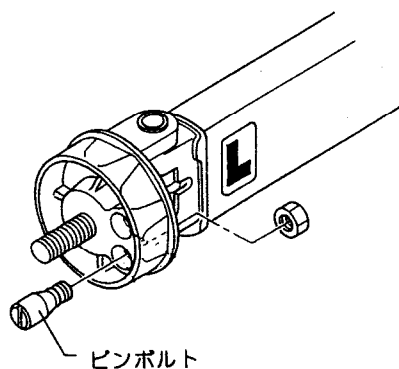


4-2 アームの取付け



①角度設定用ピンボルトの取付

ピンボルトを下側の穴にセットします。



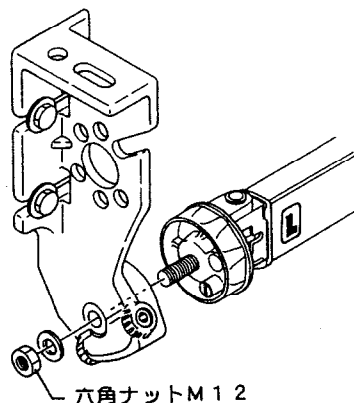
②アームの取付け

ブラケットにアームを取付けます。この時点では仮止めの状態にします。

重要：アームは必ずブラケットに対しチリが均等になるようにセットして下さい。

※アームには左右があります。

向きに注意して取り付けて下さい。

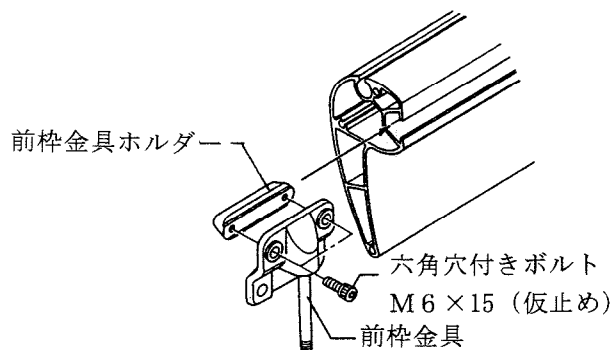


③前枠の取付

前枠金具のセット

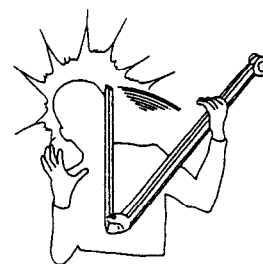
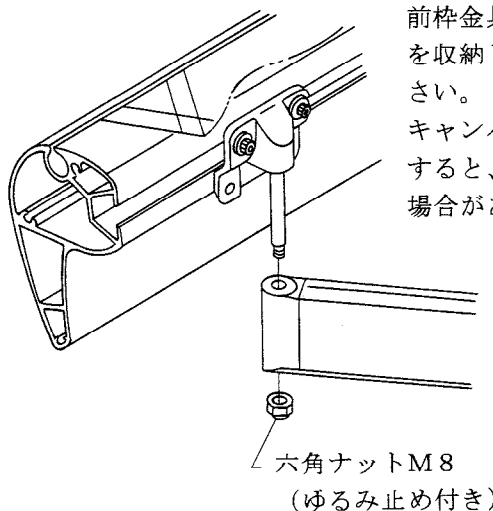
前枠に前枠金具ホルダーを挿入して下さい。

仮止め状態にしておいて下さい。



前枠金具の位置はキャンパスを収納した状態で設定して下さい。

キャンパスが出た状態で設定すると、アーム等が破損する場合があります。



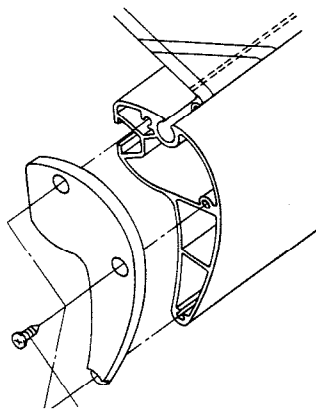
※前枠金具は①と②の2種類あります。(部品に刻印)

8、15、20 アーム共 ①は右アーム用。

②は左アーム用。

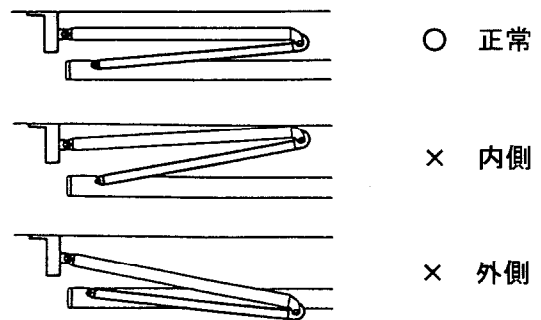
注意：アームバンドをはずすときは十分注意して下さい。強いスプリングでアームが伸びるので、しっかり手で押さえて下さい。

④前枠キャップの取付け



⑤アームの位置調整

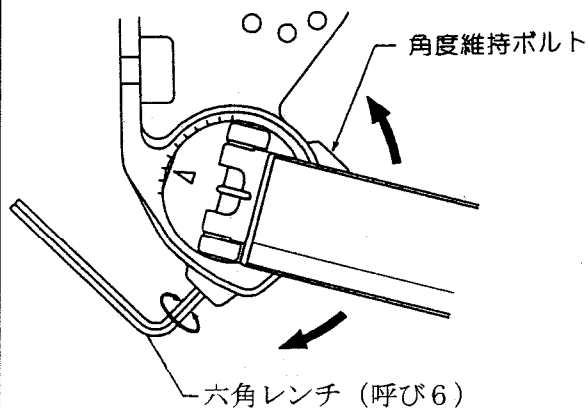
前枠金具を移動し下図のように調整して下さい。



⑤アームの角度調整

アーム角度の調整

あらかじめ角度マークで大まかな調整をします。下側の六角穴付きボルトで微調整をします。アームが下がる方向に調整します。

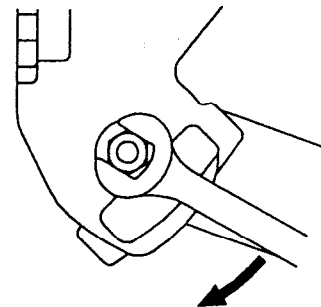


⑥アームの本締め

ブラケットサイドの六角ナットを確実に締めて下さい。締め付け目安は、

10Kgm

重要：アームは必ずブラケットに対してチリが均等になるようにセットして下さい。

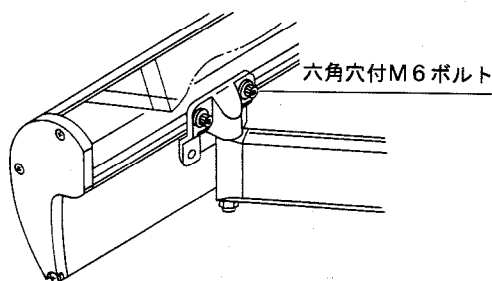


※各ボルトは確実に締めて下さい。
締め付けがあまりいと、破損の原因になります。

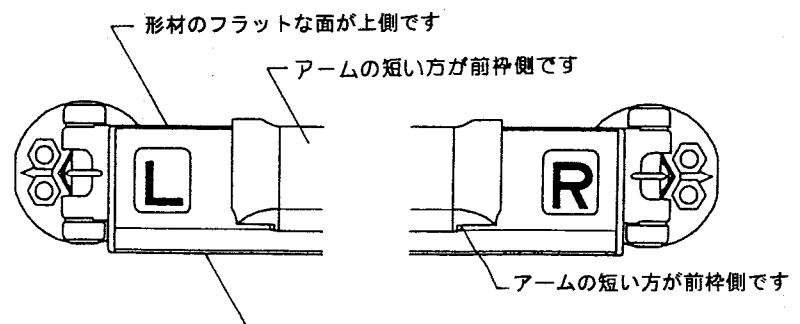
参考：アーム左右の確認の方法

シールにより確認できます。Lが左アーム
Rが右アーム

⑦ボルトの本締め



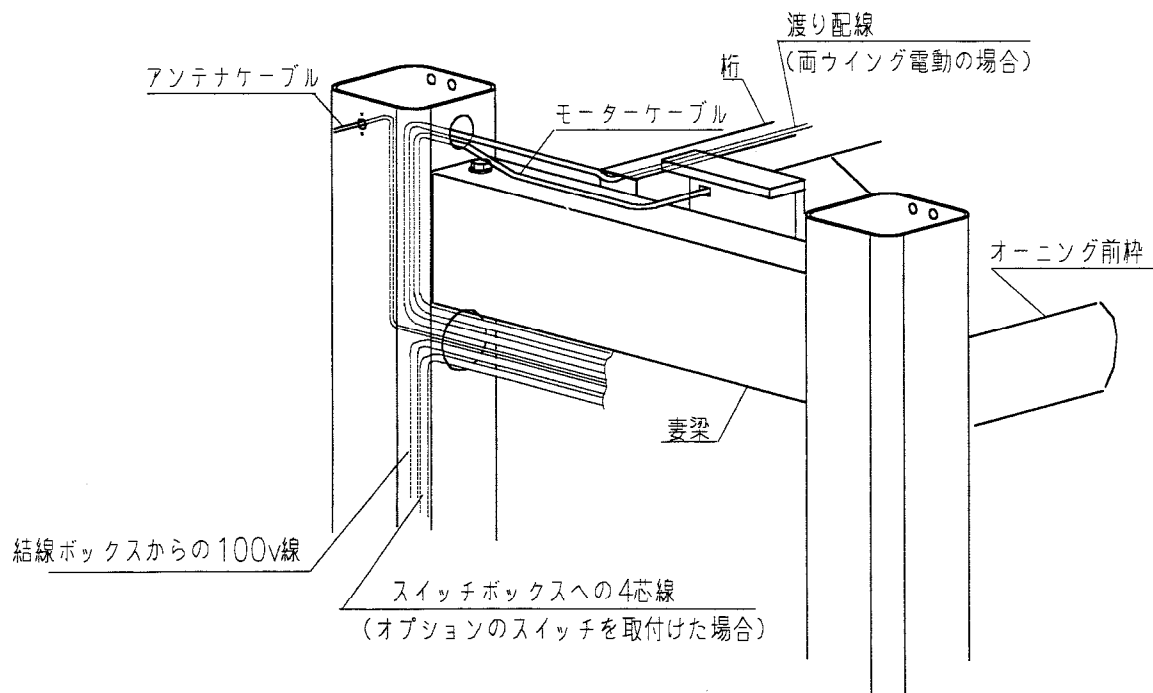
アームの位置決め後に③で仮止めされている六角穴付M6ボルトを本締めして下さい。



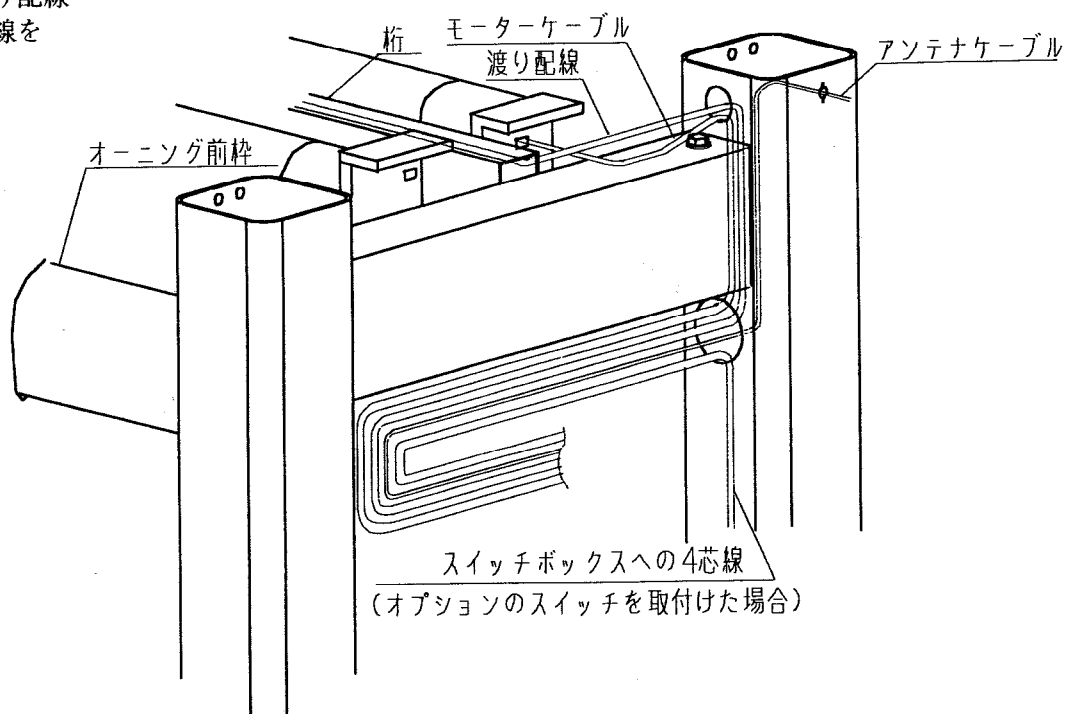
参考

本締め後、アーム角度を修正する場合、オーニングを閉じた状態にして、アームを固定しているナット（M12）及び角度維持ボルトをゆるめて、アームの肘（ヒンジ）部分を上下にあおって下さい。アームがゆるみます。任意の角度を設定して下さい。再設定の後、ゆるめたナット・ボルトを確実に締め付けて下さい。

- ⑧電手動の配線の取り回し
屋根を取り付ける前に配線の
取り回しを行ってください。

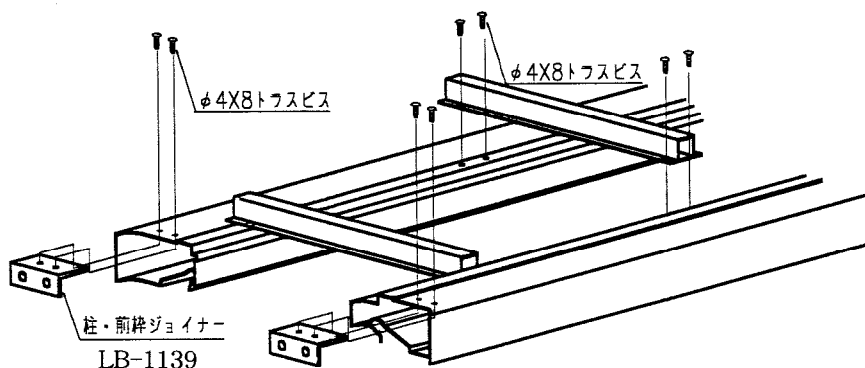


- ⑨両ウイングで電手動の場合
電動ボックスへは、右側より配線
を入れますので、右側へ配線を
回して下さい。



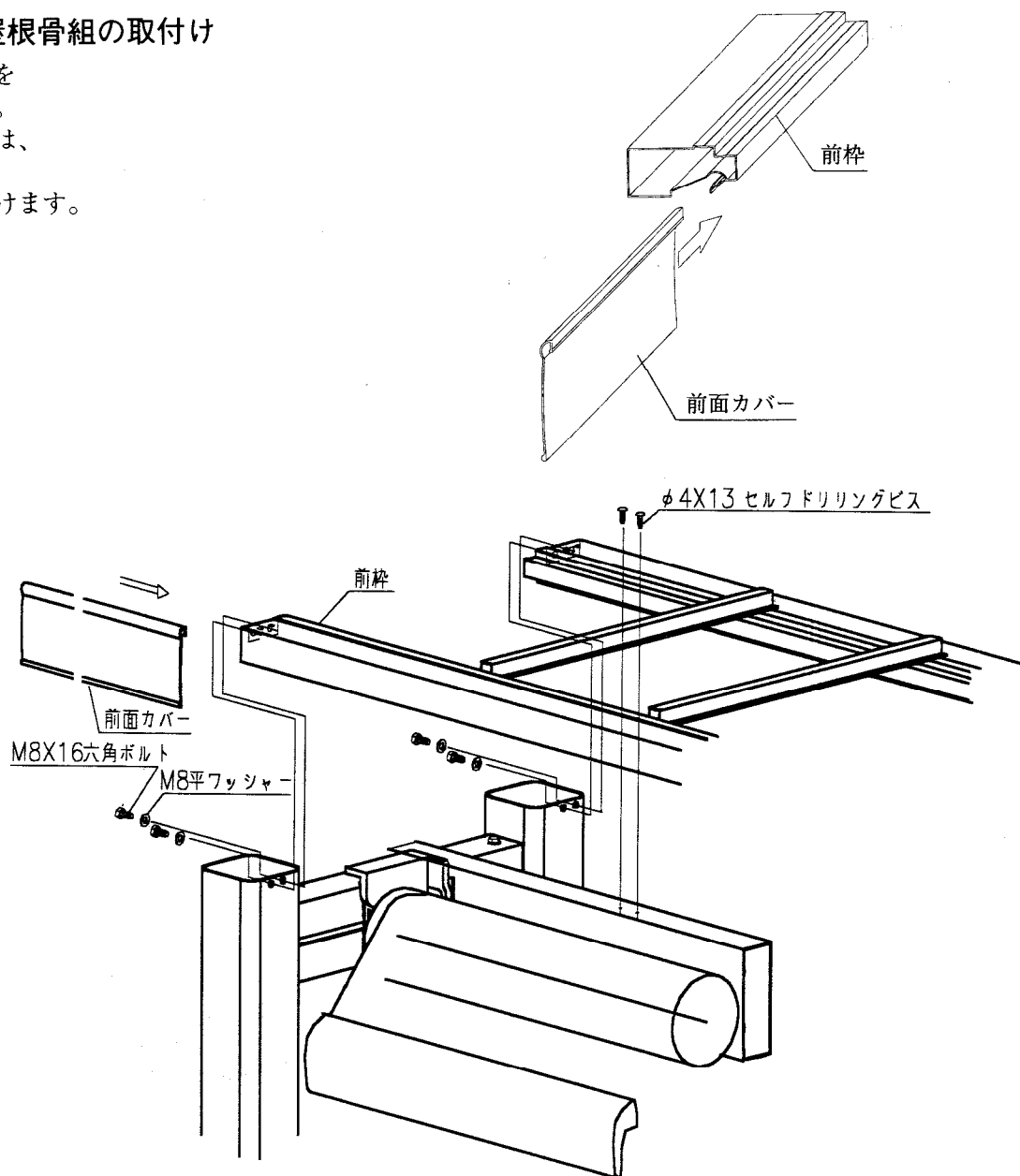
⑤屋根骨組みの組立

- ①前枠に柱・前枠ジョイナー(LB-1139)を
4ヶ所取付けます。
- ②母屋を取付けます。
母屋に水勾配を付けますので3ページの
縦断面図を参考に取付けて下さい。



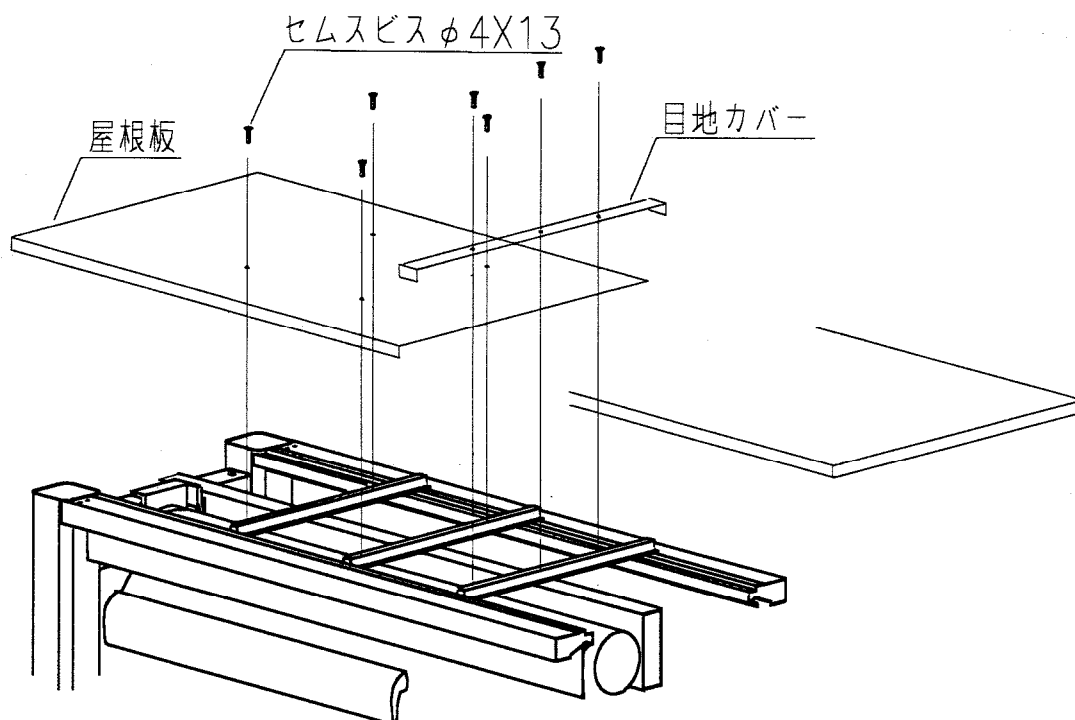
⑥前面カバーと屋根骨組の取付け

- ①前枠に前面カバーを挿入してください。
- 両ウィングの場合は、両方の前枠に前面カバーを取付けます。



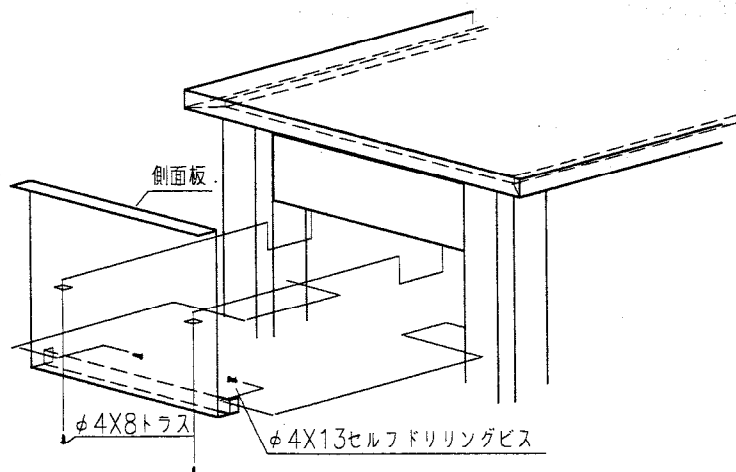
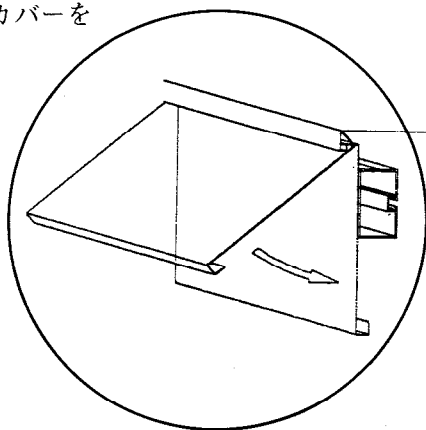
⑦屋根板の取付

- ①屋根板をセムスビス($\phi 4 \times 13$)で固定します。
- ②屋根板の合わせ目に目地カバーを取付けます。



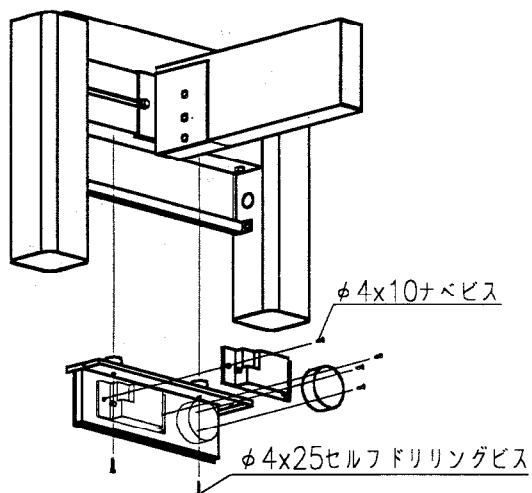
⑧側面カバーの取付

両側面に側面カバーを取付けます。

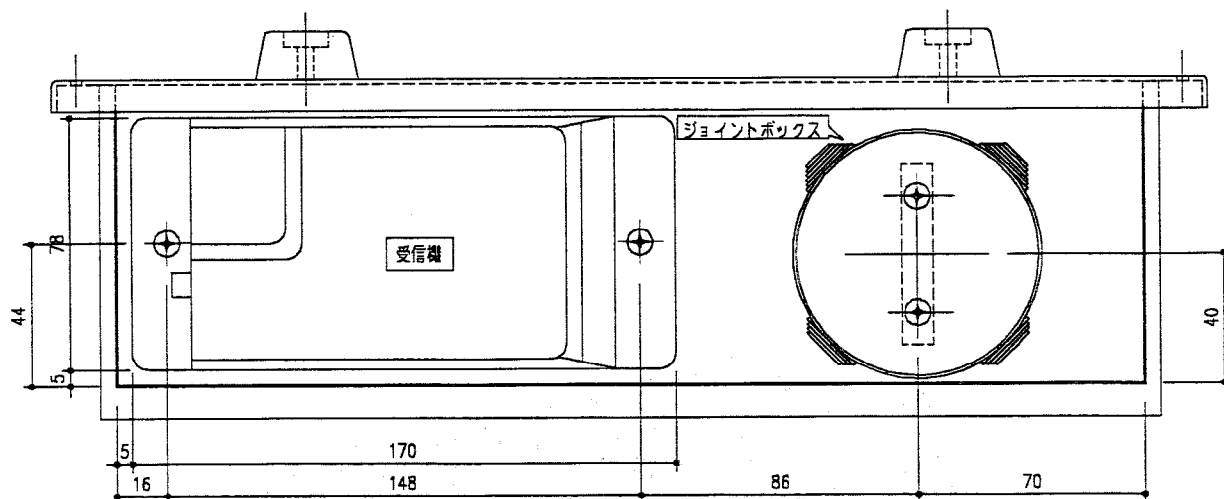


⑨電動ボックスの取付

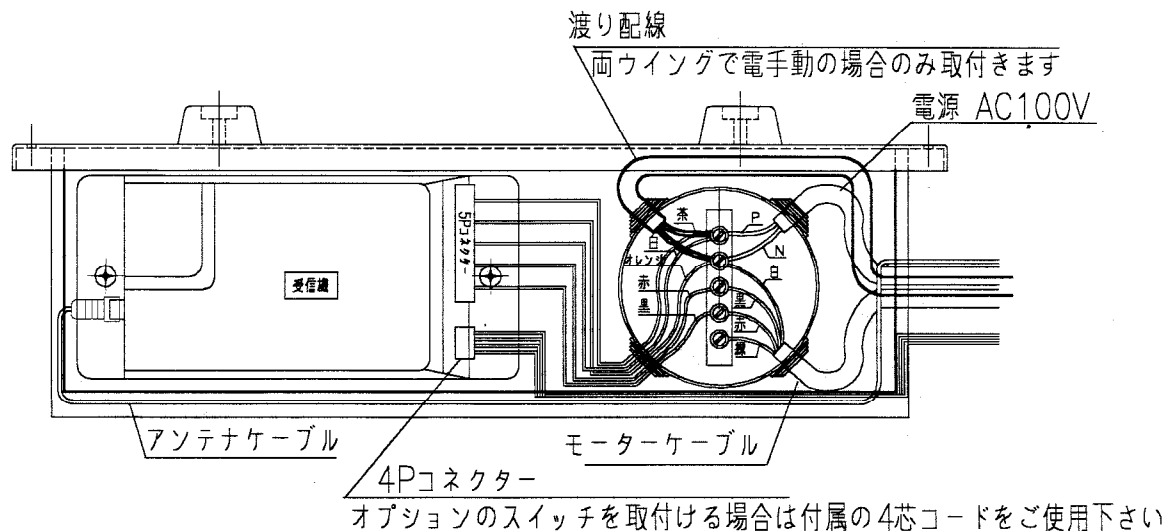
- ①電動ボックスを妻梁にセルフドリリングビスで取付けます。
- ②電動ボックスに受信機と結線前のジョイントボックスを取付けます。
- ③17Pの電動ボックス内配線図にそって結線を行って下さい。
- ④全ての結線作業が終わったらフタを取付けて下さい。(P19を参照下さい)



電動ボックス内受信機とジョイントボックスの取付図

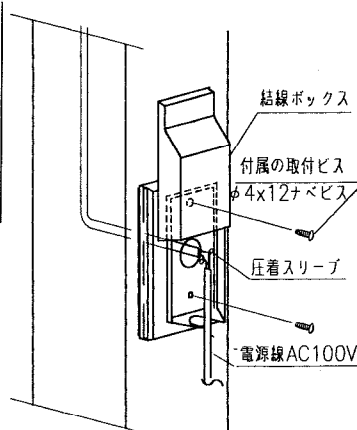
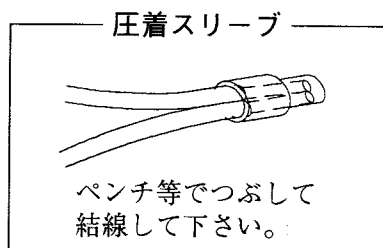


電動ボックス内配線図



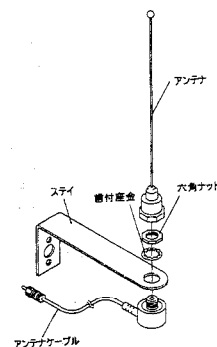
10

電動ボックスに同梱されている結線ボックスを付属のビスにて柱に取付けて下さい。
配線は圧着スリーブにて結線します。



11 アンテナの取付

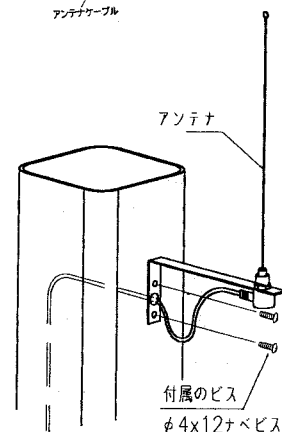
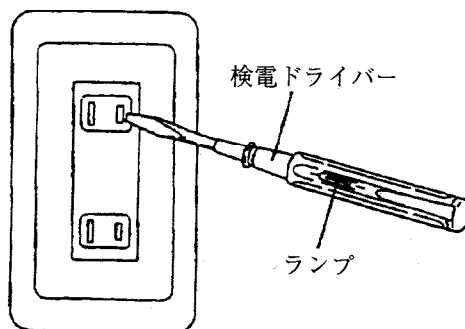
無線ユニットに同梱のアンテナを取付けます。



(P端子、N端子の確認)

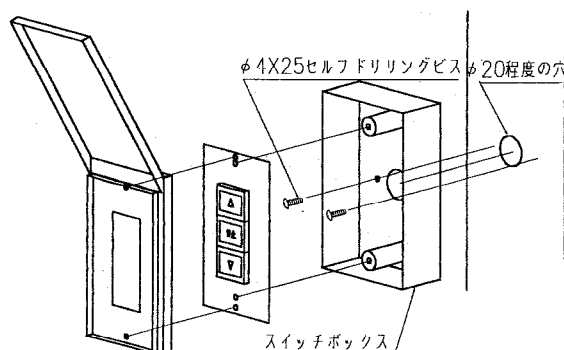
交流電流(ACV)には、電源側と接地側からなる極性が有りますので結線の際、確認が必要となります。
通常、電源側をPと表し、活線・POSITIVE(陽極:プラス)を示し、接地側をNと表し死線・NEGATIVE(陰極:マイナス)を示します。

- コンセントの右側(差し込み口の短い側)に検電ドライバーを差し込むと赤く点灯します。点灯側がP端子となります。
- 電源コードから直接結線する場合もP端子を確認して下さい。



12

オプションのスイッチユニットを取付ける場合はスイッチを取付けたい部分の柱にφ20程度の孔をあけて、無線ユニットに同梱されている4Pコネクター付4芯線を通線して下さい。又、長さが足りない場合はスイッチボックスに同梱されている延長コード(4芯)をお使い下さい。



13 リミットスイッチの調整

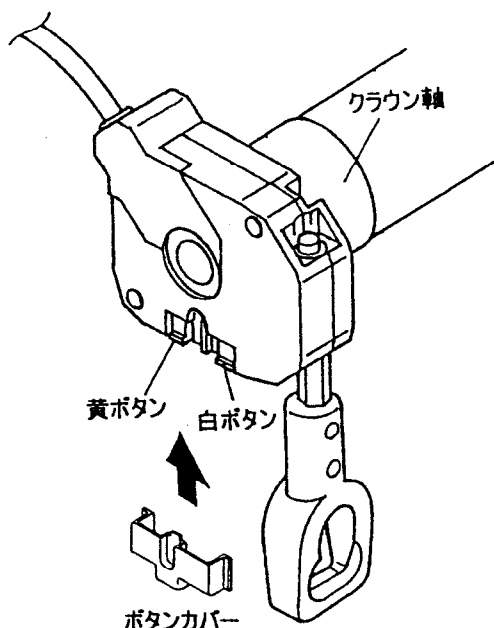
[1] 特徴

- リミットスイッチの調整方法が押しボタン式なため、簡単にリミット調整ができるようになりました。

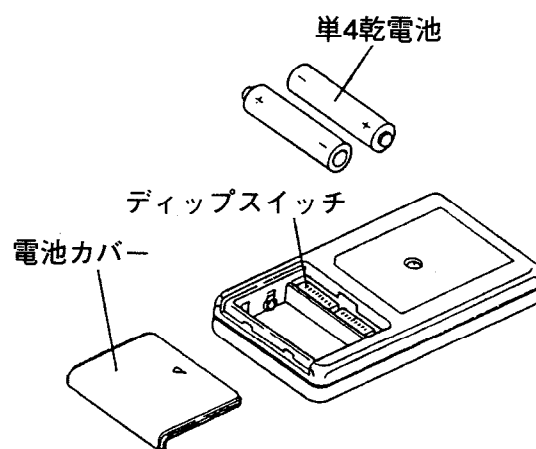
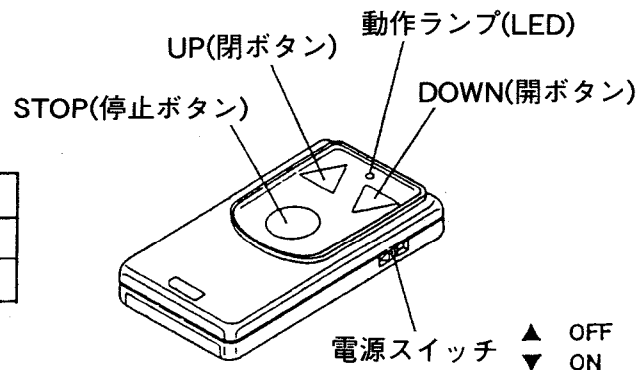
[2] リミットスイッチの説明

リミット調整時のボタンと結線コードの関係

取付位置	方向	ボタン色	結線コード色
左付の場合	張出(開)	黄ボタン	白コード×赤コード
	巻取(閉)	白ボタン	白コード×黒コード



リモコン



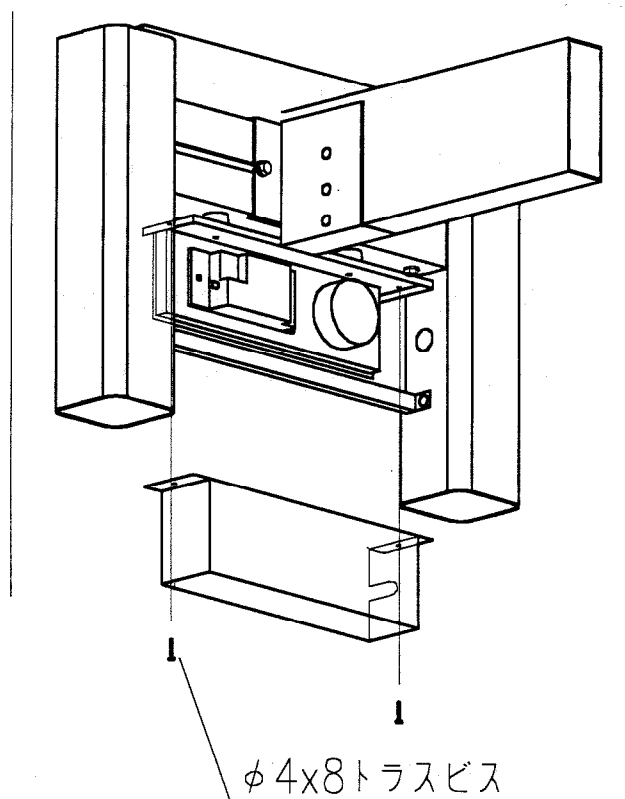
[3] 調整方法 (モーター左付の場合)

- ①電源(AC100V)を入れない状態で黄ボタンと白ボタンを「カチッ」という音がするまで一杯に押しとボタンが下がった位置で保持されます。(2つのボタンが下がった状態で調整を行っていきます)
 - ②電源(AC100V)と操作スイッチを使ってキャンバスを張り出します。(白コード×赤コード)キャンバス張り出しの希望位置に達した時、操作スイッチでモーターをストップさせて下さい。
※張り出しすぎた場合、電源(AC100V)と操作スイッチで希望位置まで戻して下さい。(白コード×黒コード)
 - ③張り出し希望位置でストップさせたのち、下がった状態の黄ボタンのみを再度押し込みます。手を放すとボタンが最初の位置まで戻ってきます。これで張出(開)方向の調整が終わりです。
 - ④次に巻取方向の調整をするために電源(AC100V)と操作スイッチを使ってキャンバスを巻き取ります。(白コード×黒コード)キャンバス巻き取りの希望位置に達した時、操作スイッチでモーターをストップさせて下さい。
※巻き込みすぎた場合、電源(AC100V)と操作スイッチで希望位置まで戻して下さい。(白コード×赤コード)
 - ⑤巻き取り希望位置でストップさせたのち、下がった状態の白ボタンのみを再度押し込みます。手を放すとボタンが最初の位置まで戻ってきます。これで巻取(閉)方向の調整が終わりです。
- ※上記は張出(開)方向の調整からの説明です。巻取(閉)方向の調整が先の場合は、番号①→④⑤→②③の順番で行って下さい。

※モーターからの結線コードを直接コンセント等の電源に差し込んでリミット調整をしないで下さい。ショートやモーター破損の原因となります。

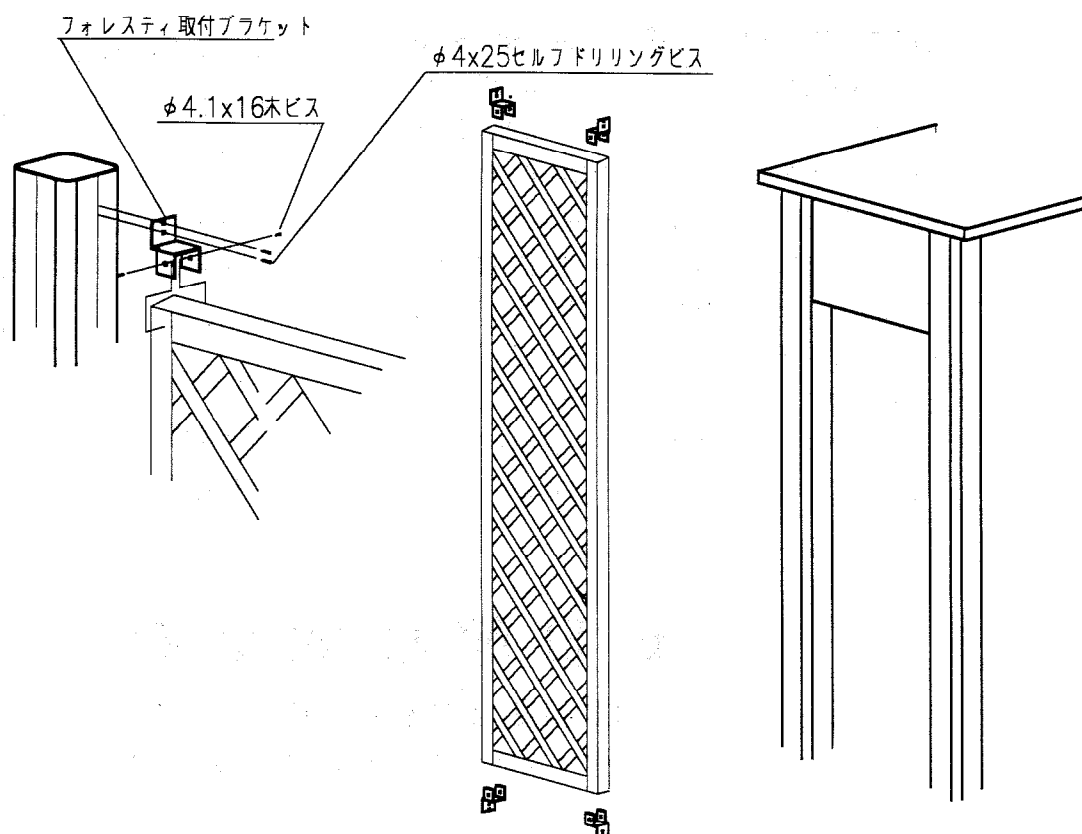
14 電動ボックスカバーの取付

結線、試運転が完了したら
電動ボックスカバーを取付けます。



トレリスパネルを取付ける場合

フォレスティ W400パネルの取付
フォレスティトレリスパネルを取付ける場合は
マルコボールのフォレスティトレリス取付部品
セットを使用して下さい。



お問い合わせ

◎オーニング本体の組立について(施工手順書の内容について)

株式会社 テンパル 市場開発部 03-3207-4906

◎組立て施工マニュアルの内容や、その他アルミ本体の組立についてご不明な点は、下記支店または営業所にお問い合わせ下さい。

東日本エクステリア支店——03(5759)2208

- ・仙台エクステリア営業所……022(297)3354
- ・北関東エクステリア営業所……048(684)8583
- ・東関東エクステリア営業所……0471(62)3500
- ・西東京エクステリア営業所……0422(51)5201
- ・横浜エクステリア営業所……045(910)1669
- ・静岡エクステリア営業所……054(289)6131
- ・名古屋エクステリア営業所……052(777)3721

西日本エクステリア支店——06(6380)9275

市場開発課……………06(6380)9275

景観課……………06(6380)9281

〒564-0052大阪府吹田市広芝町4-34(江坂第一ビル1F)

- ・大阪エクステリア第1営業所……06(6380)9281
- ・大阪エクステリア第2営業所……06(6380)9256
- ・中国エクステリア営業所……082(544)4144
- ・岡山エクステリア営業所……086(243)9419
- ・高松エクステリア営業所……0878(31)7308
- ・福岡エクステリア営業所……092(482)8581
- ・福岡エクステリア熊本出張所……096(366)0575

札幌支店—————011(219)7511

東北住宅建材支店——022(297)3371

北越住宅建材支店——076(237)0122

北関東支店—————027(328)2881

長野支店—————026(224)2878

東京支店—————03(3820)2451

埼玉住宅建材支店——048(688)4156

東関東住宅建材支店—043(247)3546

横浜支店—————045(641)3381

静岡支店—————054(289)6111

名古屋支店—————052(731)1911

大阪支店—————06(6390)1331

岡山支店—————086(243)1243

中国支店—————082(544)4134

四国支店—————087(833)7611

九州支店—————092(712)8191

新日軽株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1

ゲートシティ大崎ウエストタワー23・24階